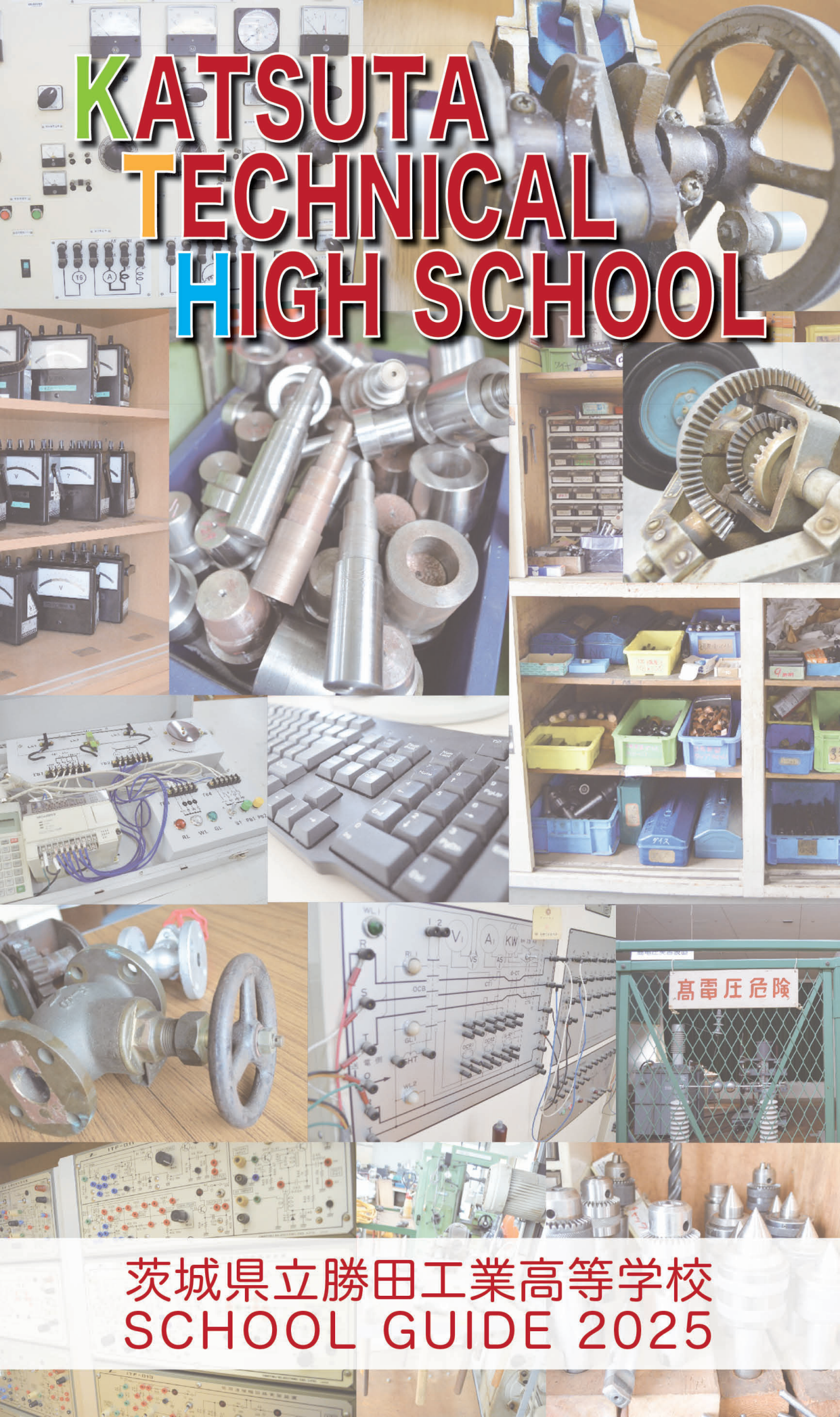


KATSUTA TECHNICAL HIGH SCHOOL



茨城県立勝田工業高等学校
SCHOOL GUIDE 2025

校訓

正しい判断

強い意志

清い生き方

■学校長メッセージ

勝田工業高等学校は、日本の社会で活躍できる人財を育成する単位制総合工学科の工業高校です。幅広い知識とそれに裏付けられた工学の専門性、そして地域や社会の発展を担う職業人としての「社会人基礎力」を生徒の皆さんが身につけられるよう、授業や学校行事等の教育活動を展開しています。進路支援は3年間を見据えて計画的に実施しており、例年の進路結果の傾向は60～70%が就職、30～40%が大学や専門学校等への進学となっています。部活動は現在14の運動部と11の文化部が活発に活動しており、全国大会・競技会に出場する部もあります。このような本校で、多くの生徒の皆さんが学習やさまざまな活動に真摯に取り組んでいます。そして毎年ほぼ100%の生徒が就職・進学を進路を決定しています。

工学系の多様な選択科目は本校の大きな魅力の一つです。興味や進路志望に応じて希望する分野を学ぶことにより、専門的な知識や技術・技能を効果的に身につけることができます。進学・公務員向けの選択科目もあり、多様な進路実現が可能なくみとなっています。必要な資格取得にも力を入れており、有資格者による指導など、サポート体制が充実しています。毎年、工学を中心に英語、数学、国語等の資格検定において、多数の生徒が国家資格を含む資格取得を実現し、キャリアアップにつなげています。

充実した施設・設備も本校の強みの1つです。校内どこでもつながるWi-Fi環境や全教室に完備している電子黒板等により、ICT機器を効果的に活用した学習が進められています。また、3クラス同時に利用可能な課題研究室、3部屋合わせて100台のコンピュータを有するパソコンルーム、製図室、旋盤22台が整備されている機械実習室、3次元CAD、マシニングセンタ実習室、CNCモデリングマシン、電力関係の様々な実習室など、学習環境は県内の工業高校の中でも特に充実しています。私たちはこのような施設・設備を効果的に活用して、生徒の皆さんの幅広い知識と専門性の向上を図っています。

本校は旧勝田市（現ひたちなか市）の現在の地に昭和37年に創立され、機械科・電気科の2学科でスタートしました。平成20年度に県内唯一の単位制総合工学科として学科改編し、令和3年度には創立60周年を迎えて現在に至ります。卒業生は一万有余名を数え、県内はもとより日本の産業界を支える人財として各方面で活躍しています。皆さんが勝田工業高等学校で充実した3年間を過ごし、もてる力や可能性および人間性をいっそう高め、社会で羽ばたいてくれることを願っています。私たちはそのような皆さんを心から支援します。

勝田工業高等学校長 浜田 健志

■生徒会長メッセージ

皆さんこんにちは。生徒会長の上金勇輝です。この勝田工業では、一人一人が自分の目標に向けて、勉強や部活動に取り組む主体性のある学校です。さらに、この学校は単位制の総合工学科であり、2年次から自分の学びたい科目を選択して授業を受けることが可能です。選択科目も半端なものではなく、指導や施設が充実しているため、本格的な授業が受けられます。これにより、自分の目標によって臨機応変に対応が可能です。わからない事があったときには、先生方に優しくとても分かりやすく教えてもらうこともでき、先生方にも恵まれているのでその面でも勝田工業は「すごく良い」と考えてもらえると良いと思います。また、部活動も盛んで、運動部14部、文化部が11部あります。全国大会や関東大会にも多くの部活が出場しており、とても力を入れています。また、資格取得にも先生方の手厚いサポートがあり、難しい資格でも多くの生徒が資格を取得しています。部活動も頑張りたいけど勉強も頑張りたい方はぜひ勝田工業に来てもらえると充実した高校生活を送ることができます。

皆さんのことを勝田工業で待っています！

生徒会長 上金 勇輝



ものづくりのスペシャリストを目指す 「総合工学科」



「総合工学科」の特色 4つの「学べる」✎

“工業”
を総合的に学べる

「ものづくり」には様々な分野の知識・技術が必要です。勝田工業高校では、1年次の「工業技術基礎」2年次・3年次の「実習」を通して、電気・機械・情報・制御の基礎的な実験・実習を行い、各系のつながりを意識しながら工業について幅広く学ぶことで、ものづくりのスペシャリストを目指します。

“4つの系”
について学べる

総合工学科には電気系・機械系・情報系・制御系の4つの系がありますが、この「系」には二つの意味があります。総合工学科では、電気・機械・情報・制御の4分野について、共通科目である実習を軸に生徒全員が学びます。この全員が学ぶ工業の4つの分野を表すのが一つ目の「系」です。

その一方で、総合工学科には、電気・機械・情報・制御の4分野の中から必ず選んで学習するコア科目と呼ばれる科目があります。コア科目の選択には、自分の専門とする分野を決めるという意味があり、例えば電気の科目を選択した生徒のことを電気系、機械の科目を選んだ生徒を機械系と呼んでいます。これが生徒の専門性を表す二つ目の「系」です。

“自分の好きな科目”
を選んで学べる

総合工学科では、さまざまな選択科目の中から自分の興味や進路にあった好きな科目を選んで学習することができます。選択科目は、生徒の学習に対する主体的な態度（生徒が自ら進んで学習に取り組む）を育み、幅広い知識やより専門的な知識を効果的に身につけることができます。そして、選択科目にも実習があるのが総合工学科の特色です。選択実習では、共通実習よりも専門性の高い実習に取り組み、専門的な技能の習得に力をいれています。また、普通教科の科目を中心とした進学・公務員講座を選択することも可能です。

“資格取得”
について学べる

いまは社会的・職業的に自立し、社会のなかで自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力が求められています。総合工学科では、生徒一人一人の選択肢を広げるために、各種の資格取得を奨励しています。本校では、多くの生徒が資格取得にチャレンジしています。

また、資格取得につながる授業を選択科目に設定し、資格取得に熱心な生徒をサポートしています。（P5に資格詳細あります）

※ジュニアマイスター顕彰制度とは、資格や競技会の成績を点数化して合計点で、「全国高等学校長協会」が表彰する制度です。



令和5年度ジュニアマイスター顕彰制度受賞者

4つの系統

電気系

電気に関する基礎理論、電力技術に関する発電・変電・送電・配電理論について学習します。

また、電子技術では、トランジスタを用いた増幅回路やデジタル回路など、自動制御ではシーケンス制御に関する基本回路を学習します。



機械系

産業の基礎となるのは、機械工学です。

機械に全般について金属加工（旋盤・フライス盤・ボール盤・NC旋盤・マシニングセンタ）や工作機械の操作について学びます。

本校では、加工技術だけではなく、機械系保全に関する内容も幅広く学びます。



情報系

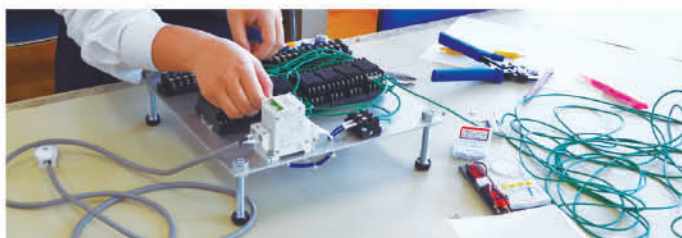
情報技術に関する、基礎理論や応用技術について学習します。コンピュータそのものであるハードウェアやプログラミング言語、ネットワークを構成する通信技術について幅広く学習し、実際に用いられている情報技術について理解を深めていきます。



制御系

メカトロニクスの基礎としてセンサ技術・アクチュエータ技術・制御技術などについて学習します。

また、シーケンス制御やコンピュータ制御について理解を深め自動化された機械や産業用ロボットなどの活用について考えます。





教育課程

年次	分類	科目
1年次	共通科目	言語文化
		公共
		数学Ⅰ
		科学と人間生活
		体育
		保健
		美術Ⅰ
		英語コミュニケーションⅠ
		家庭基礎
		工業技術基礎
		生産技術
		工業情報数理
		総合的な探求の時間
		製図
2年次	共通科目	現代の国語
		歴史総合
		数学Ⅱ
		物理基礎
		体育
		保健
		英語コミュニケーションⅠ
		実習
		製図
	コア1科目	電気系 電気回路
		機械系 機械設計
		情報系 ハードウェア技術
		制御系 電子機械
	選択科目	講座1 電子技術 機械工作 生産技術 英語コミュニケーションⅡ 数学A
		講座2 電力技術 原動機 プログラミング技術 数学B 化学基礎
	何れかを 必修修選択	講座20 生産技術
		講座21 (前期) 電気回路 (2種電工) 実習 (機械検査) 実習 (機械保全) 実習 (ボイラー) 工業情報数理 (ITパスポート)
		講座22 (後期) 通信技術 (工担) 工業化学 (危険物) 実習 (電子機器組立)
3年次	共通科目	国語探求
		地理総合
		数学Ⅱ
		英語会話
		体育
		実習
		課題研究
	コア2科目	電気系 電気回路
		機械系 機械設計
		情報系 ソフトウェア技術
		制御系 電子機械
	選択科目	実習 (電気系) 実習 (機械系) 実習 (情報系) 実習 (CAD) 実習 (制御系) 実習 (CAD)
		講座3
		講座4 電力技術 機械工作 ハードウェア技術 電子計測制御 論理・表現Ⅰ 政治・経済
		講座5 電気機器 自動車工学 生産技術 コンピュータシステム技術 電子回路 数学Ⅲ 英語コミュニケーションⅡ 生物基礎
		講座6 通信技術 原動機 プログラミング技術 物理基礎探求 中国語 ライフデザイン 数学総合 化学基礎 美術Ⅱ

1年次の時間割例

	月	火	水	木	金
	SHR				
1 限目	英語コミュニケーションⅠ	生産技術		数学Ⅰ	科学
2 限目	数学Ⅰ	言語文化	工業技術基礎	言語文化	英語コミュニケーションⅠ
3 限目	体育	工業情報数理		総合的な探求の時間	言語文化
	昼休み				
	清 掃				
4 限目	工情数	数学Ⅰ	LHR	美術Ⅰ	生産技術
5 限目	製図	保健	公共	家庭基礎	体育
6 限目	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	科学	家庭基礎	公共

2年次の時間割例 ※太枠は選択科目

	月	火	水	木	金
	SHR				
1 限目	体育	英語コミュニケーションⅡ	コア1	物理基礎	保健
2 限目	現代の国語	講座2	体育	講座1	数学Ⅱ
3 限目	英語コミュニケーションⅡ	物理	製図	コア1	講座1
	昼休み				
	清 掃				
4 限目	コア1	実習	LHR	講座2	製図
5 限目	物理	実習	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	歴史総合
6 限目	数学Ⅱ	実習	歴史総合	講座20 (通年) 講座21 (前期) 講座22 (後期)	現代の国語
7 限目	講座21 (前期) 講座22 (後期)	講座21 (前期) 講座22 (後期)		講座21 (前期) 講座22 (後期)	

3年次の時間割例 ※太枠は選択科目

	月	火	水	木	金
	SHR				
1 限目	コア2	実習	体育	地理総合	国語探求
2 限目	講座4	実習	講座5	数学Ⅱ	講座6
3 限目	講座6	実習	コア2	体育	地理総合
	昼休み				
	清 掃				
4 限目	国語探求	講座5	LHR		英語会話
5 限目	体育	講座4	講座3	課題研究	コア2
6 限目	数学Ⅱ	英語会話			講座5

進路情報



主な進路実績 ※詳しい内容は学校HPに掲載されています。

企業・法人

専修学校等

大学・短大・高専

公共職業能力開発施設

公務員

日立Astemo株式会社	アキラ株式会社
日立建機株式会社	株式会社E&Eテクノサービス
日立パワーソリューションズ株式会社	茨城電設株式会社
日本原子力発電株式会社	株式会社菊池精器製作所
住友電気工業株式会社	原電エンジニアリング株式会社
株式会社小松製作所茨城工場	株式会社日立製作所大みか事業所
株式会社原電機製作所	株式会社日立テクノロジードサービス
株式会社JR東日本ステーションサービス	アイムス株式会社
東洋製罐株式会社岡工場	株式会社えひめ飲料茨城工場
(国研)日本原子力研究開発機構	金属技術研究所茨城工場
株式会社日立ハイテク那珂地区	検査開発株式会社
株式会社日立ハイテクファクタサービス	工機ホールディングス株式会社
株式会社アトックス東海営業所	三井株式会社
キャノン化成株式会社	JR水戸鉄道サービス株式会社
株式会社日立ハイテクソリューションズ水戸事業所	新熱工業株式会社
株式会社関電工	株式会社東京エネシス
株式会社トッパンブロスプリント水戸工場	株式会社西野精器製作所
株式会社ブイテックス東海工場	日鉄テックスエンジニアリング株式会社
キャノンモールド株式会社	日本製鉄株式会社東日本製鉄所鹿島地区
株式会社ハイソフテック	日本ナショナル製罐株式会社
原子力エンジニアリング株式会社	株式会社日立物流東日本
東京電力パワーグリッド株式会社	横浜ゴム株式会社茨城工場
株式会社中川製作所水戸工場	カゴメ株式会社茨城工場
北越コーポレーション株式会社東海工場	株式会社ティー・エム・ピー
未来工業株式会社茨城工場	大富印刷株式会社

水戸日建工科専門学校
大原簿記情報公務員専門学校水戸校
水戸電子専門学校
筑波研究学園専門学校
日本工学院専門学校
水戸ビューティーカレッジ
日本工学院八王子専門学校
中川学園調理技術専門学校
専門学校水戸自動車大学校
日本自動車大学校
医療専門学校水戸メディカルカレッジ
リリーこども&スポーツ専門学校
いばらき中央福祉専門学校
つくば栄養医療調理製菓専門学校
専門学校トヨタ東京自動車大学校
成田つくば航空専門学校
日本電子専門学校
専門学校HAL東京
水戸医師会看護専門学校
アール医療福祉専門学校
つくばビジネスカレッジ専門学校
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校
日産栃木自動車大学校
水戸経理専門学校
青山製図専門学校

常盤大学
千葉工業大学
日本大学
日本工業大学
流通経済大学
筑波学院大学
茨城キリスト教大学
足利大学
神奈川工科大学
国士舘大学
東京工科大学
埼玉工業大学
中央学院大学
つくば国際大学
東海大学
金沢工業大学
城西大学
仙台大学
千葉科学大学
東京電機大学
常盤短期大学
アール医療専門職大学
茨城大学
茨城県立医療大学
茨城工業高等専門学校

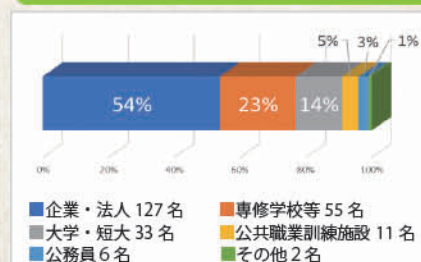
茨城県立水戸産業技術専門学校
茨城県立産業技術短期大学校
関東職業能力開発大学校
茨城県立土浦産業技術専門学校

自衛官
消防士
警察官

令和5年（3月末）進路結果一覧

就職	企業・法人 公務員	127名 6名
進学	大学・短大 専修学校等 公共職業能力開発施設	33名 55名 11名
その他		2名
合計		234名

令和5年（3月末）進路状況



資格取得



主な資格取得実績 ※○：国家資格 ◎：全国の高校で初の合格

資格・検定内容	種・級
○技能士	機械検査2級・3級
	普通旋盤3級
	フライス盤3級
	機械保全（機械系）2級・3級
	機械保全（電気系）3級
	電子機器組立3級
○ボイラー技士	マシニングセンタ3級
	1級・2級・講習修了
○電気工事士	1種・2種
○アマチュア無線技士	第三級・第四級
○陸上特殊無線技士	第二級・第三級
○情報処理技術者試験	基本情報技術者
	ITパスポート
○危険物取扱者	乙種1～6類
○工事担任者	甲種
	第二級デジタル通信

資格・検定内容	種・級
○小型車両系建設機械	講習修了
○クレーン特別教育	講習修了
○玉掛け技能講習	講習修了
○ガス溶接技能講習	講習修了
◎自主保全士	2級
計算技術検定	1級・2級・3級
情報技術検定	1級・2級・3級
品質管理検定	3級・4級
機械製図検定	
基礎製図検定	
JIS溶接技能者評価試験	基本級
リスニング英語検定	1級・2級・3級
実用英語技能検定	2級・準2級・3級
日本漢字能力検定	2級・準2級・3級
実用数学技能検定	2級・準2級・3級

私の高校生活

山田 斗真

（勝田第一中学校出身）

株式会社 日立ハイテク



私にとって勝田工業での生活は、「充実」の一言に尽きます。毎日の授業に加え、資格取得活動や生徒会活動など、やることにあふれた毎日でした。そしてそれらにおいて決して欠かせないものがあります。それは、助け合える仲間と頼もしい先生方です。私一人の力では毎日の勉強をこなすのが精一杯でしたが、仲間と先生方のおかげで多くのことができました。一つ一つの資格や行事を通して、数多くの貴重な経験に加え、仲間との絆も一層深まっていきました。

いま私は卒業し学生から社会人として、新たにのしかかる責任とともに会社に勤めています。まだまだ慣れないことが多く、苦しい日々が続いています。ですが、勝田工業で得た知識と経験を駆使し、困難を乗り越えていきます。そう思うことができる「充実」した学校生活でした。

好きが見つかる学校

飛田 美優

（平磯中学校出身）

茨城県立産業技術短期大学校



私は、兄の影響で工業に興味をもち、勝工に入学しました。勝工は総合工学科で、工業について分野を問わず総合的に学ぶことができます。入学以前の私は、工業系に興味があるものの、自分が関心をもっているのがどの分野なのか明確にイメージすることができていませんでした。しかし、勝工の実習を通して各分野のことを実際に体験しながら学んでいくうちに、私は回路を組んだりプログラムを書いたりしてものを動かすことが好きだと気づきました。

そして、コンピューターやソフトウェアについてももっと専門的に学んでみたいと思うようになり、今は茨城県立産業技術短期大学校に通って情報技術の勉強をしています。授業は難しい内容も多くて大変ですが、情報技術について知るの面白く、毎日楽しく勉強しています。これからも、勝工がきっかけで知った工業の面白さやものづくりの楽しさを忘れずに頑張っていきたいです。

私の高校生活

大場 瑠依

（田彦中学校出身）

株式会社 NAT



私の高校生活は、部活動を一生懸命取り組んでいました。剣道部に所属しており礼儀作法・忍耐力・仲間の大切さについて学ぶことができました。自分の見えていない部分で家族や部員・先生方の支えがあり部活動だけでなく日々の生活を有意義にできたと思っています。工業高校は女の子が少なく不安や心配があるかもしれませんが、先生方やクラスメートの子が仲良くしてくれるので楽しく色々なことを学べる3年間になると思います。

卒業後は社会人1年目として日々勉強の毎日です。新しい環境に変わり不安でいっぱいでしたが、部署の皆さんが丁寧に優しく教えてくれるので1日1日を送ることができています。また、資格取得などのサポートがあるので様々な資格に挑戦し自分の成長に向け進んでいます。

高校生活で学んだことを活かし自分自身を成長させながら、会社で活躍できることを目標に努力していきます。

高校生活の思い出

高木 琉晟

（佐野中学校出身）

千葉工業大学
工学部 機械工学科

私が高校生活で特に頑張ったのは勉強です。私はやりたいことがなく高3の時、担任の先生に教員の道を薦められて今まで1番身近で見てきた教職の道に興味を持ちました。大学を目指して大学を志望している友達と放課後に小論文や面接の練習をしたり、就職活動で先に面接を終えた友達に面接のアドバイスをもらったりしながら、進路活動に勤しみました。私は高校で仲間たちと協力して進路活動をしていた時期が大変ではあったものの、かけがえない時間になりました。また、勝田工業の先生方は進路関係で困っている時、相談に乗ってくれる先生方が揃っています。私の高校生活はいろいろなことがありましたが、友達や先生方のおかげで楽しく過ごすことができました。

そんな高校生活で学んだことを活かして、これからの大学生活やその先のことも頑張っていこうと思っています。

学校行事



4月

入学式
対面式
入学式オリエンテーション

5月

遠足
生徒総会
体力テスト
前期中間考査

6月

クラスマッチ
前期期末考査（6月末～7月）



芸術鑑賞会（3年に1回）
後期中間考査

10月



11月

学校公開
修学旅行（2年）
防災訓練
勝工祭
（3年に1回 令和7年度開催）

12月

マラソン大会
課題研究発表会（3年）



ICT 教育

GIGA スクール構想

文部科学省では、Society5.0 時代を生きる子どもたちが活躍できる人材になるように、生徒が1人1台の端末を活用して学習する環境の実現に向けて「GIGA スクール構想」を推進しています。

本県では、令和3年度入学生から、それぞれ個人所有のキーボード付きタブレット型端末（モバイルパソコン）を学校に持ち込んでいただき、探求的な学びや協働的な学びなど、授業等の様々な場面において ICT を活用した学習活動の充実を図っています。

本校では Chromebook を導入し活用を進めております。授業資料配布、Google フォームによる授業評価アンケートの実施や学習の習熟度の分析、オンラインでの学校行事の実施や実習レポートのデジタル化や、Google スライドを活用した課題研究発表会など、ICT 機器を積極的に活用した学習を行っております。

■ 設備紹介 ※Wi-Fi：全教室に完備。体育館・尚武館・格技場・多目的ホールは 60 周年記念事業にて同窓会より設置していただきました。



電子黒板（全教室）



貸出用 Chromebook（80 台）



職員用 Chromebook

■ ICT 教育の実績 ※この他にも実習レポート、校内アンケート、休校期間中のオンライン授業等にも活用しています。



Chromebook を用いた授業



課題研究発表会（各教室で視聴）



終講式（オンライン）

7月

前期期末考査
三者面談（3年）
野球応援
終講式

8月

インターンシップ（2年）
大学出前授業
面接指導（3年）

9月

就職試験開始
三者面談（1・2年）



全校課題研究発表会
学年末考査（3年）

自由登校（3年）
学年末考査（1・2年）

卒業式
学力検査
クラスマッチ



1月



2月



3月



施設・設備紹介



A棟



昇降口吹き抜け



生徒ホール



本館廊下



本館教室



進路指導資料室



多目的室



保健室



美術室



多目的ホール



マシニングセンタ



溶接実習室



図書室



野球グラウンド



体育館



洋式トイレ（本館完備）



グラウンド



機械加工実習室（旋盤 22台）



AED（4カ所）



課題研究室



材料倉庫



レーザー加工機



モデリングマシン



パソコン実習室（3カ所計 100台）

運動部

—SPORTS—



体操競技



バレーボール



硬式野球



サッカー



柔道



バスケットボール



ソフトテニス



水泳



陸上競技



ラグビーフットボール



剣道



ハンドボール



卓球



少林拳法

■主な実績 (令和5年度実績)

●ソフトテニス部

関東大会水戸地区予選会
男子個人 萩谷・磯野 ベスト8
男子団体 3位
新人大会 水戸地区予選会
男子団体 3位

●バレーボール部

全国高校総体県予選 5位
春高バレー県予選 5位
県ジュニアビーチ 優勝
全国ジュニアビーチ 出場
かこしま全国ビーチバレー 9位

●硬式野球部

秋季関東地区高校野球茨城県大会出場

●剣道部

関東高等学校剣道大会茨城県予選 団体ベスト16
第6回関東工業高校剣道大会 団体 第3位
第23回全日本短剣道大会 (3チーム出場)
団体優勝 準優勝 第3位
個人優勝 及川

●柔道部

県大会出場

●体操競技部

関東高等学校体操競技大会 団体 10位
全国高等学校総合体育大会体操競技大会 団体 24位

●ハンドボール部

令和5年度関東高等学校ハンドボール選手権大会茨城県予選会
水戸・東北地区予選 第2位
令和5年度総体県予選会水戸・東北地区予選 第3位
令和5年度茨城県高等学校ハンドボール新人大会水戸・東北地区予選 第3位

●バスケットボール部

関東高校バスケットボール大会水戸地区予選会 4位
全国高校総体バスケットボール競技水戸地区予選会 3位
同 県大会出場
関東高校バスケットボール新人大会水戸地区予選会 2位
同 県大会ベスト16

●卓球部

関東高校卓球大会水戸地区予選会
男子団体 第3位
男子複 ベスト8 鷗鷯一・片岡
男子単 推薦 片岡 ベスト8 鷗鷯一
ベスト16 鷗鷯匠 ベスト24 福田
全国高校卓球大会水戸地区予選会
男子団体 優勝
男子複 優勝 鷗鷯一・片岡 男子単 推薦 片岡
第3位 鷗鷯匠 ベスト16 鷗鷯一・福田
全国高校卓球大会茨城県予選会
男子団体 ベスト8
男子単 ベスト16 片岡
全日本選手権ジュニア水戸地区予選会
男子複 ベスト8 鷗鷯・森 男子単 ベスト8 鷗鷯
水戸地区高校卓球新人戦大会

男子団体 第3位
東京選手権大会ジュニアの部茨城県予選会
男子単 ベスト16 鷗鷯
水戸地区高校卓球新人戦大会
男子複 ベスト8 鷗鷯・森
男子単 第3位 鷗鷯

●少林寺拳法部

全国高等学校少林寺拳法大会
男子組演武の部 安藤・加藤・根本・ト部 出場
男子単独演武の部 池田・加藤 出場
男子団体演武 出場
全国高等学校少林寺拳法選抜大会
男子自由組演武 加藤・池田
男子自由単独演武 安藤
男子規定単独演武 関根

●ラグビー部

茨城県新人大大会 7位
関東予選 出場
7人制大会 出場
全国予選 5位

●陸上競技部

水戸地区高等学校陸上競技対校選手権大会出場
茨城県高等学校陸上競技個人選手権大会出場
水戸地区高等学校陸上競技新人大会出場
茨城県高等学校陸上競技新人大会出場

文化部

—CULTURE—



無線



工業技術



自動車



ロボット研究



美術



模型



吹奏楽



軽音楽



JRC



写真



ESS

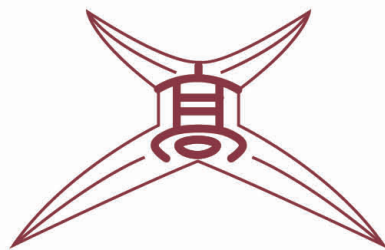
■主な実績（令和5年度実績）

- 無線部
 - 茨城県高等学校第80回無線技術競技会
 - 144MHz クラシック 団体 優勝
 - 個人女子 荒井 2位
 - 赤山 3位
 - 大塚 8位
 - 個人男子 川島 3位
 - 馬場 4位
 - 第18回全国高等学校 ARDF 競技大会
 - 3.5MHz スプリント 団体 3位
 - 個人女子 荒井 優勝
 - 個人男子 馬場 5位
 - 144MHz クラシック 団体5位
 - 個人女子 荒井 3位
 - 赤山 5位
 - 個人男子 横田 8位
 - 茨城県高等学校第81回無線技術競技会
 - 144MHz クラシック 団体 優勝
 - 個人女子 荒井 優勝
 - 赤山 3位
 - 個人男子 高田 2位
 - 馬場 5位
 - 森 7位

- 美術部
 - 茨城県高等学校総合文化祭 美術展覧会 入選
- 自動車部
 - 本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2023
 - 第42回 全国大会 33位 / 83台
 - 2023 Ene-1 MOTEGI GP 全国大会 出場
 - 電気自動車茨城県大会（NATS開催） 出場
- JRC部
 - 被災地に土のう袋を送るプロジェクト
 - 世界の子どもにワクチンを日本委員会 参加

- 工業技術部
 - 機械系
 - 全日本製造業コマ大戦 第8位
 - 技能検定 機械加工普通旋盤3級 資格取得
 - 電気系
 - 主催 茨城県高等学校教育研究会工業部電気部会
 - 令和5年度第23回茨城県高等学校電気工事コンテスト出場
 - 第一種・第二種電気工事士 資格取得





茨城県立勝田工業高等学校

〒312-0016 茨城県ひたちなか市松戸町3丁目10番1号

TEL.029-272-4351

FAX.029-276-1651

URL <http://www.katsuta-th.ibk.ed.jp>

E-mail koho@katsuta-th.ibk.ed.jp

